

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年09月06日

計画の名称	北部九州地域への来訪促進戦略（広域的観光活性化）（重点）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福岡県												
計画の目標	<p>九州新幹線の全線開業（H23.3）に加え、東九州自動車道（椎田南IC～豊前IC 平成28年4月開通）の開通を契機に、九州道、大分道、東九州道の広域観光周遊ルートが形成され、移動の効率化が進み、全国各地から北部九州地域（福岡県、大分県）への観光客の増加が期待される。</p> <p>また、海外からの観光客が増加傾向にあることも視野に入れ、北部九州地域における交通拠点（高速道路IC・新幹線駅・空港・港湾等）と景勝地や滞在型観光施設である温泉街などの観光施設との相互アクセス性の向上など、広域的な観光活性化に向けた関連基盤を整備することにより、九州北部地域の活性化を図る。</p> <p>都市部の核となる天神・渡辺通、博多駅周辺、ウォーターフロントの3地区について、それぞれの都市機能を高めるとともに、回遊性の向上を図り、地区間相互の連携を高める。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	995	A	995	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H25)(H23)	中間目標値 (H29末)(H28)	最終目標値 (H31末)(H34)
1	【福岡県・大分県 共通目標】延べ宿泊者数を2,069万人（H25）から2,317万人（H31）に増加（248万人（12.0%）の増加） 九州北部地域（福岡県、大分県）の延べ宿泊者数 (九州北部地域内の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H25の延べ宿泊者数) / (H25の延べ宿泊者数)	2069万人	2219万人	2317万人
2	福岡県内の延べ宿泊者数を1,398万人（H25）を1,628万人（H31）に増加（230万人（16.5%）の増加） 福岡県内の延べ宿泊者数 (福岡県内の延べ宿泊者数の増加率) = (評価時点の延べ宿泊者数 - H25の延べ宿泊者数) / (H25の延べ宿泊者数)	1398万人	1536万人	1628万人
3	都市部の1日あたりの歩行者交通量（天神地区、博多地区の歩行者交通量の調査地点のうち12地点の合計（平日7時から20時まで））を105,961人（H23）を113,000人（H34）に増加（7,039人（6.6%）の増加） 都市部の1日あたりの歩行者交通量（天神地区、博多地区の歩行者交通量の調査地点のうち12地点の合計（平日7時から20時まで）） (都市部の1日あたりの歩行者交通量の増加率) = (評価時点の歩行者交通量 - H23の歩行者交通量) / (H23の歩行者交通量)	105961人	110000人	113000人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	河川	一般	福岡県	直接	福岡県	二級	環境	那珂川 河川環境整備事業	河川環境整備 L=500m	福岡市						690	-	
		1-A1-701																	
	A11-002	河川	一般	福岡県	直接	福岡県	二級	改良	新建川 河川改修事業	河川改修 L=150m	久山町						225	-	
		1-A1-702																	
	A11-003	河川	一般	福岡県	直接	福岡県	一級	環境	二ツ川 河川環境整備事業	河川環境整備 L=30m	柳川市						80	-	
		1-A1-703																	
										小計						995			
										合計						995			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
計画策定主体である福岡県河川整備課において評価を実施した。	令和5年8月
	公表の方法
	福岡県のホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<p>河川環境整備等を一因として、広域的な観光活性化及び、観光地としての魅力向上に寄与したと考えられる。</p> <p>【本事業完成で発現される効果】</p> <p>A11-001 那珂川 拠点施設と一体となった河川環境整備事業において、一部区間の事業が完成したことで、周辺施設との調和や回遊性の向上が図られたと考えられる。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によりR3年には歩行者交通量が減少している。【拠点施設：春吉橋】</p> <p>A11-002 新建川 拠点施設と一体となった河川改修事業により、親水空間や水辺空間が整備され、域外からの利用者も増加し、県内の宿泊者増加に寄与したと考えられる。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響によりR4年には団体利用延べ回数が減少している。【拠点施設：久山町総合運動公園】</p> <p>拠点施設の団体利用延べ回数 H23：5,601人 H28：7,635人 R3：4,103人 H29：96回 H30：151回 R4：88回</p>
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<p>未完了の事業については、本計画完了後も引き続き、社会資本整備総合交付金等を活用し、河川事業等の基盤整備を行い、都市部の核となる天神・渡辺通、博多駅周辺、ウォーターフロントの3地区について、それぞれ都市機能を高めるとともに、回遊性の向上を図り、地区間相互の連携を高める。</p> <p>【未完了の事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A11-001 那珂川 ・A11-003 二ツ川 	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	九州北部地域（福岡県、大分県）の延べ宿泊者数 2069万人（H25）から2317万人（H31）に増加（248万人（12.0%）の増加）		
	最終目標値	2317万人	河川環境整備等により、都市機能を高め回遊性の向上を図り、滞在型観光施設との相互アクセス性向上に寄与したと考えられるが、最終目標値は達成できなかった。理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光者等が減少したことが要因と考えられる。大分県（H25：671万人、H31：790万人、R4：67万人）
	最終実績値	236万人	
福岡県内の延べ宿泊者数 1398万人（H25）から1628万人（H31）に増加（230万人（16.5%）の増加）			
2	最終目標値	1628万人	河川環境整備等により、都市機能を高め回遊性の向上を図り、滞在型観光施設との相互アクセス性向上に寄与したと考えられるが、最終目標値は達成できなかった。理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光者等が減少したことが要因と考えられる。福岡県（H25：1,398万人、H31：2,042万人、R4：169万人）
	最終実績値	169万人	
	都市部の1日あたりの歩行者交通量（天神地区、博多地区の歩行者交通量の調査地点のうち12地点の合計（平日7時から20時まで） 105961人（H23）から113000人（H34）に増加（7039人（6.6%）の増加）		
3	最終目標値	113000人	河川環境整備等により、都市機能を高め回遊性の向上を図り、滞在型観光施設との相互アクセス性向上に寄与したと考えられるが、最終目標値は達成できなかった。理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響により、観光者等が減少したことが要因と考えられる。歩行者交通量（H25:105,961人、H28:132,000人、R3:84,000人）
	最終実績値	84000人	